

令和5年度 カレンダー

富山県水墨美術館 THE SUIBOKU MUSEUM TOYAMA

- 芳年—激動の時代を生きた鬼才浮世絵師
- 超絶技巧、未来へ！ 明治工芸とそのDNA
- 川端龍子展

- 対決！くらべて見よう、これとコレ
- 花のお江戸ライフ—浮世絵にみる江戸っ子スタイル
- 生誕150年記念 川合玉堂展

- * 背景無色は常設展のみ
- 休館日

日	月	火	水	木	金	土
4	2	3	4	5	6	7
8	6	7	8	9	10	11
12	10	11	12	13	14	15
16	14	15	16	17	18	19
20	18	19	20	21	22	23
24	22	23	24	25	26	27
28	26	27	28	29	30	31
1	30					
5	1	2	3	4	5	6
9	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
17	21	22	23	24	25	26
21	28	29	30	31		
6	4	5	6	7	8	9
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	
10	1	2	3	4	5	6
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				
7	2	3	4	5	6	7
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					
11	5	6	7	8	9	10
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		
3	3	4	5	6	7	8
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

富山県水墨美術館は、水墨画などをはじめとする
日本文化の美を鑑賞することができる、
茶室や庭園を配した和風の美術館です。

利用のご案内

開館時間 午前9時30分～午後6時（入室は午後5時30分まで）
休館日 月曜日（祝日を除く）・祝日の翌日・年末年始・臨時休館日
観覧料 展示室以外はフリースペース（入場無料）です。

【常設展】一般200（160）円 【企画展】企画展ごとに設定 ※（）内は20人以上の団体料金
※企画展の観覧料で、常設展もご覧いただけます。※小・中・高校生及びこれらに準ずる方、
社会人等で18歳以下の方、児童福祉施設等に入所または通所している方、各種手帳をお持ち
の障がい者の方及び付添の方お一人は常設・企画展ともに観覧無料です。※70歳以上の方
（年齢を確認できるものが必要）、大学生及びこれに準ずる方（在学を確認できるもの
が必要）は常設展が観覧無料です。

館内施設 茶室「墨光庵」（土日祝のみ営業。ただし桜の開花時期、大型連休、お盆期間は臨時
営業。12月～2月は冬季休業。） ミュージアムショップ「風花」（企画展会期中のみ営業予定）

交通のご案内

【富山駅から】◎市内電車（大学前
行）「トヨタモビリティ富山Gスク
エア五福前（五福末広町）」下車、
徒歩約10分 ◎地鉄バス③乗場
から小杉・高岡方面行、北代循環、
富大附属病院循環「五福末広町」
下車、徒歩約10分/⑦乗場から四
方貞羽山老人センター・石坂・新桜
谷町行、北代循環、畑中「下車、徒歩
約10分 ◎タクシー約10分

バス7台



【富山空港から】タクシー約25分
【北陸自動車道・富山IC、富山西IC
から】自動車約20分
【無料駐車場】乗用車165台、



富山県水墨美術館

〒930-0887 富山県富山市五福777番地
Tel. 076-431-3719 Fax. 076-431-3720
<https://www.pref.toyama.jp/1738/>

令和5年度 展覧会のご案内

対決！くらべて見よう、これとコレ

2月17日(金)～4月9日(日)

水墨美術館の収蔵作品を、龍虎などの画題、東西の日本画壇、素材や表現など、さまざまな視点で「対決」させ、比較することにより、その魅力や表現の多様性を紹介します。

○観覧料Ⅱ一般300(230)円 大学生150(110)円

花のお江戸ライフ―浮世絵にみる江戸っ子スタイル

4月21日(金)～6月25日(日)

江戸期の浮世絵には、旅行、メイク、ガーデニング、ペットなど、当時の江戸っ子たちが夢中になったブームや娯楽の数々が登場します。鈴木春信、葛飾北斎、歌川広重、歌川国芳など著名な絵師らによる浮世絵の優品を通して、お江戸のライフスタイルをのぞいてみましょう。

○観覧料Ⅱ一般1200(1000)円 大学生1000(700)円
前売一般1000円

生誕150年記念 川合玉堂展

7月14日(金)～9月3日(日)

近代日本画壇の巨匠、川合玉堂(1873-1957)の生誕150年を記念した回顧展です。自然の中に身を置き、風景写生を重視し、そこに暮らす人々に温かいまなざしを注いだ詩情豊かな名作約40点により、日本の自然や風土に心をよせた、玉堂の芸術をあらためて紹介します。

○観覧料Ⅱ一般1300(1000)円 大学生1000(700)円
前売一般1000円

芳年―激動の時代を生きた鬼才浮世絵師

9月15日(金)～11月19日(日)

幕末から明治にかけて活躍した浮世絵師、月岡芳年(1839-1892)。師の歌川国芳が得意とした武者絵を引き継ぎ、躍動感ある表現や大胆な画面構成で浮世絵に近代的な感覚をもたらしました。武者絵のほか風俗画、歴史画など、200余点により激動の時代を生きた鬼才の全貌を紹介します。

○観覧料Ⅱ一般900(700)円 大学生450(350)円 前売一般700円

超絶技巧、未来へ！ 明治工芸とそのDNA

12月8日(金)～2月4日(日)

2015年、2018年に開催された超絶技巧展の第三弾です。清水三年坂美術館(京都)や個人所蔵の明治工芸に加え、現代作家の新作もご紹介します。さまざまな素材を用いて新たな領域に表現方法を見出している作家たちは、超絶技巧の未来を担う存在となるでしょう。

○観覧料Ⅱ一般900(700)円 大学生450(350)円 前売一般700円

川端龍子展

3月15日(金)～

川端龍子(1885-1966)の50年以上にわたる画業を紹介します。明治・大正・昭和の時代を生き、日本画の団体・青龍社を主宰、会場芸術を提唱しました。大胆で豪快な表現とそれまでになかった日本画のスタイルを確立させ、極めて稀有な存在として異彩を放った龍子の魅力に迫ります。

○観覧料Ⅱ一般900(700)円 大学生450(350)円 前売一般700円

記載の料金で常設展もご覧いただけます。()内は20人以上の団体料金です。
*記載事項は予定であり、名称、会期、内容などは都合により変更する場合があります。